

# 七よやま

No. 165  
議会だより  
6月定例会



アポロキャップ似合うかな

(関連記事P16)

## 新役員決まる

P2・3

議案PICK UP ..... P4・5

9人が一般質問 ..... P6～15

輝く人を紹介 町のキラッと ..... P16

議会のインターネット中継が始まりました

- ・定例会(初日)
  - ・一般質問
  - ・議案質疑(3月のみ)
  - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会  
【公式】  
チャンネル



町のホームページから  
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>



# 新役員決まる

5月15日に臨時会が開催され、議長、副議長、監査委員が選出されました。  
また、それぞれの委員会構成が決まりました。

## 新任あいさつ



議長  
坪井孝仁

去る、5月15日の臨時会におきまして議員多数のご  
推挙により、議長に就任さ  
せていただきました。誠に  
光栄であると共に、その責  
務の重大さを感じ身の引き  
しまる思いです。  
私はまだ経験不足な面も  
あろうかと思いますが、皆  
さま方のお力添えをいただ  
きながら円滑な議会運営に  
心がけ、豊山町と町議会の  
発展のために働いてまい  
り所存です。よろしくお願  
いいたします。



副議長  
岡島政信

この度、副議長を務めさ  
せていただきます。生活環  
境も以前のように戻りつつ  
あります。状況・状態に合わ  
せ、今後も町民の皆さまの  
声にお応えできるよう、議  
会としても根の張った取り  
組みをしてまいります。  
皆さまのお力添えもいた  
だきながら職責を果たして  
まいります。どうぞよろし  
くお願い申し上げます。



監査委員  
水野 晃

この度、監査委員に選任  
されました。豊山町の監査  
委員は、識見選任委員1名、  
議員選任委員1名の計2名  
で構成されています。  
監査委員は、住民の福祉  
の増進と公正かつ効率的な  
行財政運営を実現するため、  
行政の事務を監査し、その  
情報を皆さんに伝える執行  
機関であります。  
私は監査委員として公正  
不偏の態度で取り組んでま  
いります。

# 新しい議会へ

## 総務文教委員会



委員長／岡島剛 副委員長／岩下竜也  
委員／坪井孝仁 委員／熊沢直紀 委員／坂田芳郎

岡島 剛 委員長

初めて総務文教委員長を務めさせていただきます。中学校の改築問題や行政のデジタル化など、企画調整部・総務部・教育委員会の課題に対して、慎重に審議してまいります。

委員全員で、住民の皆さまの声を聞きながら、活発な議論ができる委員会になるように努力します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 福祉建設委員会



委員長／作野桂子 副委員長／岩村みゆき  
委員／大口司郎 委員／岡島政信 委員／水野晃

作野桂子 委員長

日常生活に直結している子育て施策や社会福祉の充実を目指し、しっかりと議論した上で意思決定される委員会運営に努めてまいります。

コロナ禍で生活習慣が変化する中「今」何が求められているのか、委員全員で町の未来を考え、皆さまが健康で自分らしく暮らしていただける町づくりを推進します。よろしくお願い申し上げます。

## 議会運営委員会



委員長／岩村みゆき 副委員長／岡島剛  
委員／岡島政信 委員／作野桂子 委員／岩下竜也

岩村みゆき 委員長

議会の会議日程や案件、議会のルールなど、議会運営全般について審議をする議会運営委員会の委員長を拝命いたしました。

住民の代表である各議員の多様な意見がある中、議会が円滑に運営出来るように、また、皆さまの意見が尊重されるよう尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

# 議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、その中身や質疑を詳しく説明します。

## 6月定例会のあらまし

令和5年第2回定例会が6月5日から16日まで開かれました。総合福祉センター南館ひまわり等改修(外壁等)工事をはじめ3件の請負契約の締結、農業委員会委員の任命、税条例、国民健康保険税条例など5件の一部改正、令和5年度の一般会計補正予算の16議案が上程され、いずれも原案通り同意・可決されました。

## 議案一覧

### 令和5年第1回臨時会(5月)

番号	議案	審議結果
承認第1号	専決処分の承認を求めること	全員賛成可決
議案第34号	監査委員(水野 晃)の選任	賛成7反対1同意

### 令和5年第2回定例会(6月)

番号	議案	審議結果
議案第35号	工事請負契約の締結(総合福祉センター南館ひまわり等改修工事)	全員賛成可決
議案第36号	工事請負契約の締結(下水道工事 その1)	全員賛成可決
議案第37号	工事請負契約の締結(下水道工事 その2)	全員賛成可決
議案第38号	農業委員会委員(柴田賢一)の任命	全員賛成同意
議案第39号	農業委員会委員(大野和彦)の任命	全員賛成同意
議案第40号	農業委員会委員(池山春雄)の任命	全員賛成同意
議案第41号	農業委員会委員(秋田秀春)の任命	全員賛成同意
議案第42号	農業委員会委員(坪井宏見)の任命	全員賛成同意
議案第43号	農業委員会委員(秋田秀機)の任命	全員賛成同意
議案第44号	農業委員会委員(大口悦美)の任命	全員賛成同意
議案第45号	印鑑条例の一部改正	全員賛成可決
議案第46号	税条例の一部改正	全員賛成可決
議案第47号	国民健康保険税条例の一部改正	全員賛成可決
議案第48号	都市計画税条例の一部改正	全員賛成可決
議案第49号	介護保険条例の一部改正	全員賛成可決
議案第50号	令和5年度一般会計補正予算(第2号)	全員賛成可決

議長は議決には加わりません 太字は次項に掲載

## 町民の皆さまの生活を応援

8,380万円

●商工会加盟の全店共通商品券を送付する(①②)

種類	金額	対象		時期
①生活応援商品券	2,500円分/人	74歳以下の 住民税課税対象者	約8,000人	7月下旬
②敬老祝商品券	2,500円分/人	75歳以上の後期高齢者	約2,230人	7月下旬
③住民税非課税世帯等 臨時特別給付金	3万円/世帯	住民税非課税世帯 または家計急変世帯	約1,230世帯	8月中旬

※③の給付金は、一人暮らしの大学生も対象になる場合もあります。  
詳しくは、福祉課 0568-28-0912 までお問合せください。

**Q** 町長は、独自事業である商品券の支給を決めるにあたり、どのような  
思いで形にされたのか。

**A** 昨今の物価高騰による影響は、すべての町民の皆さまに及んでおり、  
その生活を少しでも応援したいという強い思いである。その結果、  
より多くの方に広く還元することができる事業を決定した。

**Q** 実際に、町民の何割くらいの方へ支援が届くことになるのか。

**A** 町民の約8割の方に支援が届くことになる。

おしえて!?  
地空人くん

第17回

地空人くん



### 農業委員会とは

農業委員会等に関する法律により市町村に置かれている行政委員会です。主に農地の権利移転や転用についての許認可、農家からの相談、有効利用に向けた農地パトロールや指導をします。令和5年6月定例会で7人の委員が任命・同意されました。

一般質問  
ラインナップ

# あなたの想い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

6月12日(月)9人が質問に立った。  
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	大口 司郎	●町長、副町長、教育長の通勤手当の総額について ●昨年の副町長の通勤手当に関する新聞報道について	P.7
2	作野 桂子	●子どもたちが自由に遊べる場所の確保を ●投票率向上の取り組みを	P.8
3	岡島 政信	●県営名古屋空港の航空路線を活用した各就航地との関係の構築について	P.9
4	岩下 竜也	●きれいな豊山町について ●豊山町の安心安全な取り組みについて ○町民の声に耳を傾けて	P.10
5	岩村みゆき	●投票支援カードの導入を ●書かない窓口の導入について ○地域猫活動への支援について	P.11
6	水野 晃	●地域公共交通のあり方について	P.12
7	熊沢直紀	●愛知県基幹的広域防災拠点について	P.13
8	岡島 剛	●基幹的広域防災拠点の周辺道路について ●豊山スカイプールの在り方について	P.14
9	坂田 芳郎	●都市計画審議会決定について	P.15

◎全文記録（議事録）は、9月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。

新役員就任

議案  
PICKUP

一般質問



おおぐち しろう  
大口司郎 議員  
OGUCHI Shiro

## Q. 再発防止の方策は

## A. 年2回実情をチェック

地元住民の皆さまから意見や要望をいただいている。その中で特に気になることは、

町長、副町長、教育長が町内にお住まいでないのは、何か特別な理由でもあるのか。という問いである。

町長は日頃から「一人も取り残さない」「住んで良かった」という町づくりを目指しており、この方針には感服している。

しかし、町内にお住まいでないことから、身近な言葉に聞こえないというのは、大変残念に思う。

町長の町づくりの方針が、絵空事に聞こえてしまう。

**Q** 町長、副町長、教育長の通勤に要する手当の1年間の総額は。

**A** 総務部長  
令和4年度の総額は73万5100円である。

**Q** 令和4年度に通勤手当に関する新聞報道があったが、この件についての再発防

止の方策はとられているのか。

**A** 総務部長  
特別職のうち、教育長を除く町長と副町長については、公共交通機関と自家用車による通勤を認めている。

特別職も一般職の職員と同様に条例等で規定された制度に基づき、年間を通じて主として用いている通勤方法を町が認定し、支給している。一般職員を含む通勤手当受給職員を対象に4月と10月の年2回、支給要件を具備しているかどうか、また、手当の額が適正であるかどうかについて定期券などの提示を求め実情をチェックしている。

**A** 町長  
町の将来を考えると、住民というのは、必ずしもお住まいの方だけではない、事業所の方々、日中、町内にお勤めの方々、古くからお住まいの方、新しく町にお住まいの方、色々な方がいる。そういう方々の思い、意向をきちんと掴んで、将来の豊山町を考

えていくことが一番肝要だと思っている。

町の将来を一緒に考えていく、特別職の選任には、将来の豊山を思って職務に取り組み、町民の方々と協働する人材が最も重要だと判断している。

豊山町のために働くという立場であれば、住所要件については必要条件ではない。

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

# Q. 移動支援を実施しては

# A. 最適な移動支援を検討する



さくのけいこ  
作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

豊山町議会議員選挙の投票率は2019年が48・56%、2023年が40・37%であり、8%以上低下している。今回は立候補者が少なかつたなどの要因もあるが、この結果を真摯に受け止め、皆さまから関心を持っていただけたら、議員・議会としてできる取り組みを推進していきたい。

全国的にも投票率の低下が問題視されており、若者の投票を促す取り組みが必要だと考える。また、超高齢社会である日本では高齢者や要介護者、障がいのある方の投票機会拡充のため、移動支援や不在者投票と呼ばれる制度、投票所でお手伝いができることなどの周知が必要だと考え、質問する。

**Q** 町議会議員選挙でも選挙公報を発行、全戸配布し、HPやSNSに掲載しては。

**A** 総務部長  
選挙公報を発行している事例を参考に発行やHP、SNSでの周知を検討する。

**Q** 選挙期間中に交通弱者に対してバス無償化など移動支援をしてはどうか。

**A** 総務部長  
移動支援が必要となる有権者の割合が増加していくため、他市町の事例を参考に本町にとって最適な移動支援について検討していく。

**Q** 郵便投票などの不在者投票や投票所で支援が必要な方のお手伝いができることを周知してはどうか。

**A** 総務部長  
今後は選挙執行時だけでなく、年間を通して不在者投票などの各種投票制度や代理投票制度についてHPなどでの周知に努めていく。



狛江市のリーフレット

# Q. 遊べる場所として校庭活用は

# A. 有効な方法の一つである

2022年度の全国体力テストでは、小中学校共に調査開始以来、過去最低を記録する結果が出ており、子どもたちの運動不足や肥満傾向が進んでいる。要因は、コロナ禍による生活習慣の変化、塾や室内遊び時間の増加、子どもの遊び場の減少などが考えられる。今後は部活動の廃止による影響も予想される。

体を動かすことは健康寿命を延ばすことにもつながり、とよやま健康づくり21計画にも、身体活動と週2回の運動を継続することの重要性が明記されている。町は、子どもたちが定期的に体を動かす機会や自由に遊べる場所を確保する必要があり。今回は様々な方から声があがっているボール遊びができる場所について質問する。



**Q** 小学校の校庭は、令和元年まで子どもたちの遊びの場となっていた実態もあり、最適だと考える。子どもたちが自由に遊べる場所として校庭を活用してはどうか。課題は何か。

**A** 教育委員会事務局長  
校庭活用は有効な方法の一つである。最も大きな課題は不審者対応など、安全対策である。また、利用時間、開放区域などのルールづくりが必要である。放課後の子どもたちの活動については、生活福祉部と連携しながら課題の解決に向けて努力していく。



おかじままさのぶ  
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

# Q. 各就航地との関係の構築は

# A. 双方向の交流を推進する



さあ、札幌へ

名古屋空港は、平成17年(2005年)に県営の空港となり、今年で19年目を迎えた。この間、平成23年(2011年)には「ジェイエア撤退」という大きな出来事もあった。その際には、当時の鈴木幸育町長が先頭に立ち、町会議員、県議員、商工会などが一丸となり、活性化協議会の設置、町民約900人が参加した町民総決起集会の開催、内閣総理大臣と国土交通大臣への意見書の提出、愛知県知事と愛知県議会議長への要望書の提出などに取り組み、これを受けた愛知県も積極的に、また、粘り強く汗をかいていただ

た結果、地元の熱い要望を真摯に受け止めていただいたフジドリームエアラインズ(FDA)による定期便の就航が実現し、今日に至っている。

県営名古屋空港の  
旅客数の推移(FDA)

平成23年度	約32万人
平成30年度	90万人超

7年という短い期間に約3倍の旅客数を達成した。これは、FDAのたゆまぬ営業努力、安全で時間どおりの運航へのこだわり、愛知県による空港使用料や着陸料の減免に加え、わが豊山町も、町民・町商工会の会員の方への利用促進助成制度をFDAの就航時より創設し、全力で利用の促進に努めてきたことも一定以上の効果があったと考える。

新型コロナウイルス感染症の影響が続いていた令和4年は、町制施行50周年という、

町にとって記念となる一年であった。この記念すべき年に、厳しい状況にあった旅客数を下支えしようと、助成金額を2倍とする予算案に、議会としても賛成した。

令和4年度の旅客数は、約83万人までに回復した。コロナ前の90万人に迫る数字となり、町の助成制度の拡充も一役買ったと考える。

令和5年3月26日には、地域の念願であった、北海道の札幌丘珠空港への定期便就航が始まった。これにより、これまでの本州、四国、九州の8つの就航地に北海道の札幌丘珠空港が加わり、県営名古屋空港は日本全国9つの就航地と結ばれた。

新しく結ばれた札幌丘珠空港を始めとした国内の様々な



札幌丘珠空港ビル

町にとって大きな財産であり、また、チャンスと考える。

町として、札幌丘珠空港を始めとした各就航地との関係をどのように構築していくのか。

## A 産業建設部長

これからは、就航地から名古屋への誘客を含めた双方の交流を近隣市と共同で、トップセールスにも取り組む。また、令和5年度は、札幌丘珠線が就航し旅客数の増加が期待されている。この状況を活かし、各就航地の物産品を有効に活用し、相互展示販売の機会を設けるなど、各就航地間で人と物が行き来できる双方向の交流を推進する。



新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

# Q. 豊山町きれいなまちづくりを

# A. 住民が関心を持つ事業に努める



いわした たつや  
岩下 竜也 議員

IWASHITA Tatsuya

私は長く「新川クリーンアップ活動」で、ごみ拾いを行っている。住んでいるところがきれいで、雑草などもよく手入れがされ、ごみの散乱もなくすっきりとしているまちは気持ちがよく、訪れた方にも良い印象を与える。

町は令和4年10月に、協働によるきれいなまちづくりを推進し、快適な生活環境の確保に寄与することを目的とする「きれいなまちづくり条例」を制定した。その条例を基に、令和5年6月4日に「あつまれ！ピカッと隊」を開催した。私はその隊員として、ごみ拾いに参加した。小さなお子さんを始め、多くの住民や事業者の方々が参加されており、協働できれいなまちを目指す取り組みとして、とても良い事業だと感じた。ごみが落ちていない所には、ごみは捨てにくくなり、ごみ拾いを続けていけば、まちがきれいになっていくのだと思っている。

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

◎ 今後も「あつまれ！ピカッと隊」のような事業者を巻き込んだ事業を検討されているか。

◎ 生活福祉部長  
「あつまれ！ピカッと隊」

は、一人ひとりが、環境美化について考え、行動するきっかけにしていきたいと考えている。また、11月に開催予定の環境フェスティバルにおいても、多くの事業者の皆さまに参加していただく予定である。今後も事業者の皆さまにご協力いただきながら、多くの方に環境美化やごみに関心を持っていただける事業を実施していく。



新川クリーンアップ

# Q. 安全なまちづくりとは

# A. 実践的な活動に努める

◎ 安心安全なまちづくりに関して今後、どのように取り組んでいくのか。

◎ 企画調整部長

◎ 安心安全なまちづくりの実現に向けて、関係団体との相互の連携・協力を図り、警察の専門的な知識などの協力を得ながら、地域防犯力の向上に取り組んでいく。

◎ 団体が互いに連携・協力することによって、防犯、交通安全に関する地域住民の身近な声をお聞きできることも、実践的な活動の横展開、人材の確保やコスト縮減といった効果も期待できるものと思うが、どのように考えているか。

◎ 企画調整部長

◎ ご指摘のような各団体の活動の現状や問題を、情報共



夜間の歩行パトロール

有、意見交換することにより、きめ細やかで効果的な安全や防犯に関する活動が可能になるとともに、人的、財政的にも効率的な取り組みが期待できるものと考えている。今後は、各団体の活動内容や問題などの情報共有を行うなどし、より効果的で実践的な安心安全なまちづくり活動に努めていく。



い わ む ら  
岩村みゆき 議員  
IWAMURA Miyuki

# Q. 投票支援カードの導入を

## A. 導入に向け検討する

今回の町議会議員選挙の投票率は前回より大きくポイントを下げた。いろいろな課題はあると思うが、高齢化の進展も一因としてあるのではないかと思っている。

**Q** 高齢者や障がい者が投票しやすい環境整備について、どのようにお考えか。

総務部長

**A** 現在、各投票所において車いすや車いす用の記載台の設置、段差解消用のスロープの設置を行っている。そのほか、点字名簿や点字器、コミュニケーションボードを用意している。

また、自ら投票用紙に候補者名を記載することが出来ない場合において、職員が選挙人に代わって投票用紙に候補者名や政党名などを記入する代理投票を行っている。

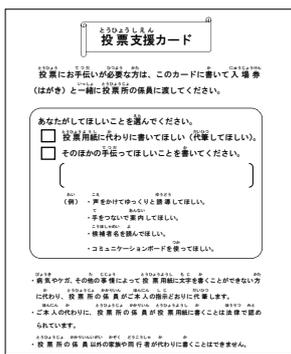
**Q** 代理投票の制度は承知しているが、住民から職員に声をかけるのは、なかなかハードルが高い。□頭による

申し出が困難な方へ印刷した用紙にあらかじめ記入をして投票所の係員に提示すると、必要な支援が受けられる「投票支援カード」を作成している市町村がある。豊山町でも導入してはどうか。

総務部長

**A** 「投票支援カード」は□頭での意思疎通や単独での投票が困難な方にとって、有効なコミュニケーションツールの一つであると認識している。

今後は、先進事例を参考に「投票支援カード」の導入について検討してまいりたい。



# Q. 書かない窓口の導入は

## A. 課題を検討し進める

**Q** 書かない窓口について見解を聞く。

企画調整部長

**A** 令和4年度、デジタル化・ICTの活用により、より一層の住民の利便性向上と役場業務の改善に取り組みため「豊山町DX推進計画」を策定した。

当該計画では行政サービスの質の向上の取り組みの一つとして、窓口申請のタブレット入力（書かない窓口）を進めることとしている。

書かない窓口は職員が来庁者から住所・氏名・生年月日などの情報を聞き取り、システムへ入力を行い、申請書の作成をするもの。来庁者の申請書作成の時間が軽減されることはもちろん、手続き漏れの防止や手続きにかかる時間の短縮などの住民サービスの

向上のほか、役場業務負担軽減の効果についても期待できるものと考えている。



**Q** 書かない窓口の導入に向けた今後の取り組みは。

企画調整部長

**A** 豊山町DX推進計画の施策を着実に推進するために、6月に豊山町DX推進本部を設置する予定である。

また、これに加えてデジタル化推進室主導のワーキンググループを設置していく予定である。

今後、このワーキンググループで課題などを検討し、取り組みを進める予定である。

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

# Q. 地域公共交通の在り方は

## A. 実証実験の検討を進める



みずの あきら  
水野 晃 議員

MIZUNO Akira

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問



平成14年にスタートした「とよやまタウンバス」は、これまで利用者のニーズに合わせてルートの再編成や延伸をして、現在では町民の皆さんの通勤・通学また、買い物や通院の手段として、しっかりと根付いたものと考えている。今後、町民の皆さんの「足」として根付いた「とよやまタウンバス」が、利用者のニーズを把握し、安心安全を徹底し、しっかりと運行してもらいたいと考える。しかしながら、反面タウンバスの維持のために、毎年度4千万円の税金が充てられていること、また、ガソリン代の高騰も踏まえ「とよやまタウンバス」の運行に更なる財政負担が必要となることについて、心配をしている。

高齢者の方々の免許返納も増加傾向にあり、高齢者の健康増進に寄与するため、外出しやすい足作りとして、地域公共交通を活用した外出支援策が必要である。

そのアプローチの一つとし

て、乗り合いタクシーなどを利用した「デマンド型」と呼ばれるサービスがある。これは「バスや電車などのようにあらかじめ決まった時間帯に停留所を回るのではなく、予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通システムサービス」のことである。ライフラインとなる住民の交通手段として活用されているものである。将来に



向けて町民の「足」となる公共交通を維持していくためには、さまざまな選択肢を持つことも大切であると考えている。

今後、高齢化が進む社会に向かっこの「とよやまタウンバス」を含む「地域公共交通の在り方」について、町の考えはどうか。

### A 産業建設部長

令和4年度のタウンバスの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける前の令和元年度の利用者数の9割程度まで回復している状況である。本町としても町民の皆さんの交通手段として一定の役割を担わせていただいているものと考えている。

しかしながら、毎年度の運行負担金として4千万円の負担が生じていることも事実である。一方で、運行本数や路線の増加についてのご要望も受けている。

本町としては、町民の方の交通手段として利用していただくための利便性の確保と、



これに係る財政負担とのバランスを考慮しながら、既存のタウンバスの改善はもちろん、これにとらわれず、新たな手段についても検討を進めていくところである。

新たな交通サービスは、本町においても、運行方法を工夫することにより、高い利便性と適正な財政負担を両立できる可能性のある手段ではないかと考えているところである。

今後さまざまな先行する団体の情報を収集するなどして、時機を捉え、実証実験などの検討を進めてまいります。



くまざわ なおき  
熊沢直紀 議員

KUMAZAWA Naoki

# Q. 防災拠点に核シェルターを

# A. 愛知県へ申し伝える

現在、青山地区に愛知県「基幹的広域防災拠点」整備が進められている。防災拠点の役割とは、災害時、町民、県民、国民の生命と財産を守り、被害を最小化することである。しかしながら、この防災の災害の中には地震・大雨・台風の自然災害しか含まれていない。

もう一つの視点として、国と国との武力衝突としての人的災害という視点が欠けているのではないか。

せっかく防災拠点を作るなら、北朝鮮の度重なるミサイル発射実験の脅威に備えるための核シェルターが必要ではないか。

「日本核シェルター協会」の2014年の資料によれば、スイスやイスラエルは、人口当たりの核シェルター普及率が100%である。アメリカが82%、日本は0.02%。休戦中の韓国では300%とのこと。日本の近くには、北朝鮮、中国と非民主主義国があり心配である。

**Q** 町長（行政）の最大の責務とは何か。

**A** 企画調整部長  
地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものである。

**Q** 愛知県「基幹的広域防災拠点」の防災は、国と国との武力衝突という人災の視点が欠けていると思うが、町長はいかが思われるか。

**A** 産業建設部長  
愛知県「基幹的広域防災拠点」の整備は自然災害に対応するものである。

**Q** 中部圏初の防災拠点であるならば、ミサイルに対する対策を考慮されるべきではないか。核シェルター建設を県に提言していくべきではないか。

**A** 産業建設部長  
国の「国民の保護に関する基本方針」に基づき、都道府県知事は、ミサイルなどの

避難対策として有効な地下施設などの緊急一時避難先の取り組みを推進している。愛知県へ申し伝える。

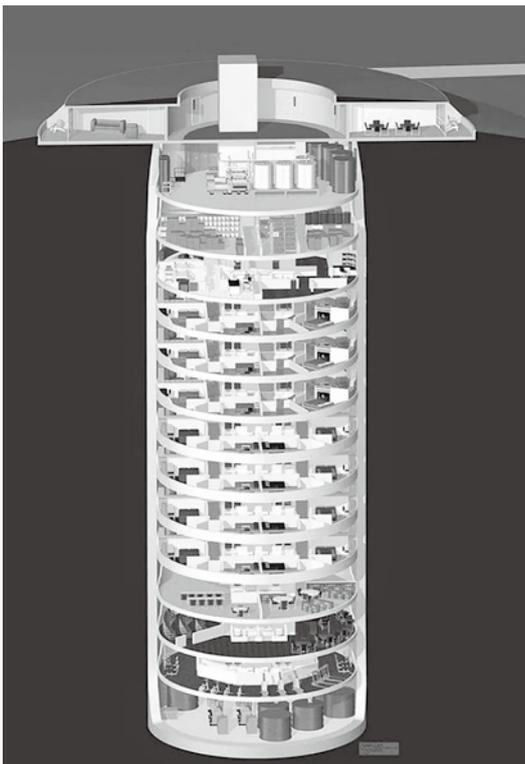
**Q** 新たにシェルター（核シェルター）を作るのがだめなら、調整池をシェルターにも活用することは十分可能と思う。避難時の安全性も考慮して併用できるよう県に提言してはどうか。

**A** 産業建設部長  
大山川洪水調整池については、関係者以外の立ち入りは禁止となる。内部に立ち入ることは危険のため、併用さ

せることはできないと聞いている。

**Q** 平成29年の9月議会での質問で、当時は頻繁に北朝鮮よりのミサイル発射実験があった。各自自治体は、ミサイルに対する防災訓練を行ったが、豊山町はミサイルに対する防災訓練を総合防災訓練の中で行わなかった。その後どうしたのか。

**A** 企画調整部長  
令和5年度の総合防災訓練でミサイル避難訓練を取り入れる方向で検討する。



新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

# Q. 集落内の安全対策は



おかじま つよし  
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

# A. 緩やかな段差や狭さを設置

八剱神社北側交差点の形状が、令和4年に開催された「基幹的広域防災拠点に係る周辺道路説明会」において、西からと北からそれぞれ交差点に入る県道を主たる道路とする「逆エル字型」との説明がされた。

説明会の質疑の中で住民の方からさまざまな不安の声が聞かれた。

その不安の声を受け、同僚議員5人とともに、令和4年10月、愛知県尾張建設事務所長に対し「ラウンドアバウト交差点」に変更するよう、「要望書」を提出した。

その後、公安委員会との協議も整い「ラウンドアバウト交差点」の計画発表がされる予定である。

**Q** 「ラウンドアバウト交差点」の整備に向けた事業スケジュール、地権者などの協力を得るための取り組みはどのようになっているのか。

**A** 産業建設部長  
6月25日、27日の説明会

新役員就任

議案 PICK UP

一般質問



ラウンドアバウト交差点へ変更

で、愛知県より説明をする。関係する地権者には個別に計画案を、県、町一体となって丁寧な説明を行い、計画への理解を求めていく。

**Q** 防災拠点南側の集落への車両進入が増えるのではないかと声を聞く。集落内の安全対策が必要ではないか。

**A** 産業建設部長  
路面標示や看板設置による周知はもとより必要に応じて、車道に緩やかなランプや狭さく部を設置する。また、開渠の有蓋化や老朽化した側溝の改良を行うなど、周辺対策も検討する。

# A.Q. 豊山スカイプールの在り方は

# A. 令和6年度を最終開場

豊山スカイプールの在り方について、令和3年12月の定例会で同僚議員から一般質問があり、年間約70日の開場期間で利用者は約4万5000人そのうち住民の利用率は約30%しかない。また、改修費用や年間の指定管理料など今後30年間で約10億円以上の維持管理費用が必要となることが分かった。

当時、教育長からは豊山スカイプールの在り方について、生涯学習推進審議会において議論をいただきたいと考えていると答弁があった。

**Q** 生涯学習推進審議会ですれた議論の内容は。  
**A** 教育委員会事務局長  
委員からは「廃止されることも止むを得ない」「代替措置としてプールなどのスポー

ツ施設に限らず賑わい施設などが求められないか」という意見があり「これらの意見を踏まえ、町として適時適切に判断されたい」との答申を受けている。

**Q** 議論をした結果、どのように考えているか。

**A** 教育長  
生涯学習推進審議会の答申などから、豊山スカイプールの廃止せざるを得ない。時期は、令和6年度を最終開場とすることが適当である。



廃止予定の豊山スカイプール



さかた よしお  
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

# Q. 都市計画審議会決定につき伺う

## A. 意見を聞きながら進めている

地域住民組織より、依頼を受けお尋ねする。

豊山町都市計画審議会が令和5年4月に開催された。

目的は、青山地区に整備が進められている、県の基幹的広域防災拠点に併せた「本町避難所」及び「賑わい施設」として整備予定の、臨空第二公園に係わる都市計画公園の変更についてである。

これについて住民組織より疑義がだされた。 伺う。

都市計画法には「都市計画に定める地区計画等の案は、その案に係わる区域内の土地の所有者その他政令で定める利害関係を有する者の意見を求めて作成するものとする。」と示されている。このことから、拠点事業により土地を失う地権者・事業基盤を失う農業従事者の意見が都市計画に反映されるべきである。にも係わらず、地権者・農業従事者の意見を確認する機会が設けられなかった。いかなる見解か。

この事である。伺う。

審議会で決定された都市計画は、都市施設のうち公園の区域を決定したものであり、「地区計画等の案」とは異なるものであります。 今回の決定においても住民の皆さんの意見をお聞きしながら手続きを進めてまいりました。

この住民組織とは「青山地区防災拠点連絡協議会」。

青山区長が顧問となり、同副区長・上東・西の自治会長・実行組合長・ほか地域の要職者・代表幹事ら12名の発起人により設立された。活動は多岐にわたり勉強会・平面街路線形・避難所・賑わい施設等諸問題を住民と県・本町当局が理解を深め合えるべく、より良き方向性に進めて行くことと言つ住民周知の窓口・要望機関である。町長は本会を、どう評価しているか。

地域有志の団体であり精力的な活動をされていると認識しております。 地域住民との意見交換の場として

職員を出席させていただいている。

尋ねが前後するが、『豊山町都市計画審議会条例』

は、委員13人以内で組織する。とある。また同条・2には、委員は次の各号に掲げる者のうちから町長が任命する。とあり、(1) 学識経験のある者5人以内 (2) 町議会の議員5人以内 (3) 関係行政機関又は県の職員3人以上と、定められている。

今般審議会は、(1) 5人 (2) 4人 (3) 2人で行われた。ここで尋ねる。学識経験とは、一般に「ある専門の分野の学問的業績に対し、相当程度以上の評価を得、かつ社会的にも見識を認められるような経験豊かな人のこと。」と解されている。

他方、学識経験者とは「学問上の知識と高い見識を持ち、生活経験が豊かであると社会が認めている人。」と解されている。 何れにせよ、今般本町審議委員5名の内、趣旨に

沿った専門的知見のある委員は何名いたのか。 委員5名の代表的肩書を伺いたい。

肩書きにより任命しているものではございません。

総合的に勘案し、任命している。町議会議長経験者や会社経営者、保育経験者等の方です。



本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。

新役員就任

議案 PICKUP

一般質問

## 初めての消防クラブ・ 二度目の消防署見学

清水 那子



発足式までは、緊張していましたが、リハーサルやいざ本番をやってみると緊張がほぐれ「消防クラブ頑張ろう」という気持ちになりました。消防署に行くと消防署では男性の方や女性の方がいました。消防署にはたくさん消防車両がありました。消防士の方のロッカーは、2人で1つのロッカーでした。どんな風かというところ、くるくる回して使おうとします。仮眠室という場所があり、仮眠室は男性専用、女性専用の場所がありました。女性専用の場所は女性しか知らない特別なパワードがあり、男性は入れないようにしているそうです。今後はもっと消防署を詳しく見ていき、もしもの時に備えて消防士から教わっていき、もっと理解を深めていきます。

## ついに発足！ 豊山町子ども消防クラブ

高桑 亮太



緊張した気持ちで発足式が始まり、一人ずつ鈴木町長からアポロキャップを受け取ると、今度はわくわくした気持ちになりました。

早速その日は消防署の施設見学に向かいました。

消防署では、消防隊員の皆さんが普段どのような過ごし方をしているのか教えてもらいました。仮眠室で指令音が鳴ると飛び起きること、夜のスキマ時間にも筋トレをしていること、一つのロッカーが回転して二人で使えるようになってきているのには驚きました。話の最中に指令音が鳴り、その時の皆さんのキビキビとした表情や姿を見て「ぼくたちや豊山町全体を守ってくれている」と感じました。これからのクラブ活動も楽しみます。

## 編集後記

議会広報編集委員会は新しいメンバー構成となり初めての編集作業。また、今回より一般質問のページは質問議員が責任を持って作っています。

皆さまに手に取って読んでもらえる議会だよりを目指して、委員全員で取り組んでまいります。よろしくお願いたします。

岩村 みゆき



## 表紙のコメント

6月3日に「子ども消防クラブ」が発足し、18人が入団しました。これから2カ月ごとの活動で、防災について学んでいきます。

## 広報編集委員

委員長 岩村みゆき  
副委員長 作野 桂子  
委員 岡島 政信  
岡島 剛  
岩下 竜也

## 寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差入れすることを禁止されています。有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。

## 次回定例会の予定

9月 4日(月) 開会・議案説明  
12日(火) 一般質問  
13日(水) 議案質疑  
14日(木) 福祉建設委員会  
総務文教委員会  
15日(金) 予算決算特別委員会  
19日(火) //  
21日(木) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(最終日は午後1時30分から)です。議事の都合により、日程が変更になる場合があります。